

令和3年度ごみ処理実績

ごみ処理費用		収入	
6億2,600万円		5,800万円	
内 訳		内 訳	
収集運搬費	1億4,000万円	ごみ処理手数料	4,190万円
美化センター中間処理費	2億9,100万円	資源売却料	1,340万円
最終処分場最終処分費	4,800万円	再商品化拠出金等	130万円
資源化処理委託費	3,500万円	その他収入	160万円
施設改良費	1億1,100万円		
ごみ1tあたりの処理費用：43,994円		市民1人あたりの処理費用：12,506円	

ごみ収集量合計 14,238 t			
内 訳			
燃えるごみ	12,602 t	資源化量 (1,212t)	
燃えないごみ	110 t	新聞	75 t
粗大ごみ	392 t	雑誌	65 t
資源	1,134 t	段ボール	36 t
<p>《市民1人が1日出すごみの量》</p> <p>令和2年度実績値 788.8 g/人・日 (人口50,770人)</p> <p>↓</p> <p>令和3年度実績値 778.8 g/人・日 (人口50,089人)</p> <p>対前年比 10.0gの削減 (収集量：対前年比379t削減)</p>		牛乳パック	2 t
		鉄	19 t
		アルミ	14 t
		その他の金属	294 t
		乾電池	15 t
		びん類	192 t
		ペットボトル	44 t
		プラスチック製容器包装	292 t
		衣類等	72 t
		小型家電	81 t
		廃食用油	7 t
		蛍光灯類	4 t

ごみの種類組成結果(重量比)

ごみ質分析は、法令で義務付けられているためだけでなく、焼却施設の管理、ごみ処理計画、ごみ減量計画、リサイクル・資源化のためのデータ収集など、さまざまな目的のために実施されます。

右図のとおり、排出されたごみの全体の9割以上は『可燃ごみ』です。

また、紙・布類だけで全体の約半分を占めています。引き続き、再資源化の可能な古紙・衣類等の分別の徹底をお願いします。

